

きよたのまちづくり団体

清田区では「白旗山」「あしりべつ川」「平岡梅林」の3つを区のシンボルとしています。このコーナーでは、それぞれのシンボルを拠点にまちづくりに取り組む団体の活動を紹介していきます。



観察会



植樹活動



野外勉強会

「札幌ふれあいの森友の会」って どんな団体？

白旗山の南部分に位置する約120ヘクタールの森林「札幌ふれあいの森」を広く知ってもらおうと、昭和61年のふれあいの森整備時に合わせて発足した団体です。自然を愛する約50人の会員が精力的に活動しています。

どんなことをしているの？

観察会を開いて森の中を案内しているほか、植樹を行うなど白旗山の豊かな自然を守るための活動もしています。また森に対する知識・理解を深めるため定期的に勉強会を開いたり、キノコのほだ木作りやクラフト工作などもして楽しんでいます。

ふれあいの森は、ほとんど手が加えられていない大自然を安全に満喫できる素晴らしい場所です！ 私たちと一緒に
出掛けてみませんか？
会員も随時募集中です。

札幌ふれあいの森友の会
事務局 やりみず まさひろ 鍵水 正広さん
(連絡先)
ふれあいセンター
☎883-8931



白旗山

清田区の南西部に位置し、標高は321.5メートル。その一帯は札幌市最大の市有林として大切に保全されています。散策や炭火焼きコーナーでのバーベキューが楽しめる「ふれあいの森」をはじめ、3つの森では四季折々の自然を満喫できます。夏は天然芝のサッカー場、冬は国際スキー連盟公認の本格的なクロスカントリースキーの会場として利用される「白旗山競技場」では、多くの市民がスポーツを楽しんでいます。



広告